



# ましみずの里

天童市立高揃小学校  
学校だより No.7  
令和5年 9月20日  
校長 齊藤厚志

## 『令和5年度全国学力・学習状況調査』について ～6年国語・算数等の調査結果の概要～

6年生の保護者の皆様には、前期保護者面談（通知票配付）の折に、標記調査についての結果が記された個票をお渡ししてありますが、今年度の調査結果をもとに分析・考察した本校の実態等を、全学年の保護者の皆様にもお知らせいたします。「教科に関する調査」「質問紙調査」とも大変良好な状況でした。

### 1 「教科に関する調査」について

#### (1) 教科別（平均正答率 %）

	国語	算数
本 校	本校は、県平均・全国平均を上回る結果でした	本校は、県平均・全国平均を上回る結果でした
山形県	67	61
全 国	67.2	62.5

#### (2) 問題別（○：全国比5%以上高い ●：全国比5%以上低い）

##### ① 国語について

- 図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。【意外】
- 文章の種類とその特徴について理解している。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つけることができる。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができる。

##### ② 算数について

- 台形の意味や性質について理解している。
- 正方形の意味や性質について理解している。
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。
- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。(＋12.9)
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。
- 百分率で表された割合について理解している。

#### (3) 今後の対応

- ①平均正答率が全国に比べ低かった設問や関連する指導事項等については、授業や家庭学習において再度取り上げ、理解と定着を図る。
- ②今回明らかになった課題については、全教職員で共有し、他の学年においても、授業等において意識して指導する。

## 2 「質問紙調査」について

### (1) 授業への取り組み、学習の理解度や興味関心、先生との関わり、読書、ICT 等 (○：全国比10%以上高い ●：全国比5%以上低い)

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- 学校の授業時間以外に、普段読書をしている。
- 読書が好きだ。
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を毎日のように使用した。
- 学校の授業時間以外に、普段PC・タブレットなどのICT機器を使用している。
- 5年生まで受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していた。
- 5年生までに受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- 5年生までに受けた授業では、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 算数の授業の内容はよく分かる。
- 算数の勉強が好き。
- 英語の勉強が好き。
- これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった。

### (2) 基本的な生活習慣、規範意識、自己肯定感、友達や地域・社会との関わり等 (○：全国比10%以上高い ●：全国比5%以上低い)

- 自分にはよいところがある。
- 学校に行くのが楽しい。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- 毎日、同じくらいの時間に起きている。
- 将来の夢や目標を持っている。

### (3) 今後の対応

- ①子供たちに、各教科における見方・考え方を身に付けさせ、課題解決を主体的に図ったり、実生活等に繋いだりする授業をさらに構築することにより、各教科に対する興味関心を高めていく。
- ②先を予測するのが難しい時代において、子供たち一人一人が将来を見つめ自己実現を図れるよう、キャリア教育等をさらに充実させる。